

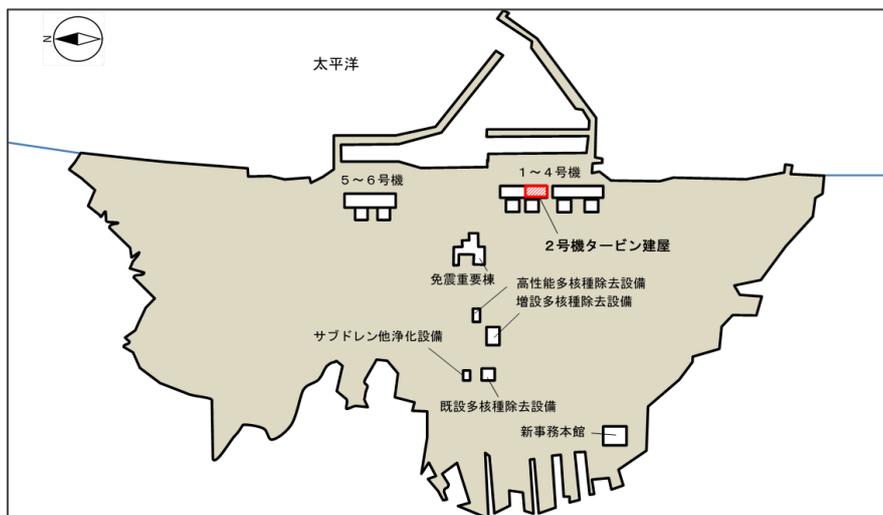
福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和5年7月5日（水）
- 2 確認箇所
2号機タービン建屋
- 3 確認項目
2号機原子炉格納容器ガス管理設備における仮設局所排気設備の状況
- 4 確認結果の概要

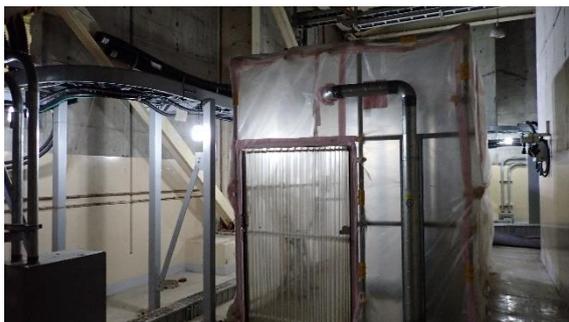
原子炉格納容器（以下「PCV」という。）ガス管理設備は、配管の腐食や水素ガスの滞留などを防止するためにPCV内部へ不活性ガスである窒素を封入し、周囲から空気がPCV内部に流入しないように内部を正圧に保ち、放射性ダストを除去するフィルタを通して排気している設備であり、PCV内部の水素濃度、放射性希ガス濃度等を測定、監視する機能を持つ。

2号機では、PCVの詳細内部調査が予定されており、このためのアクセスルート構築のため、干渉物の撤去が計画されている。この干渉物撤去の際、PCV内部の放射性ダスト濃度が上昇することが懸念されており、東京電力は、万一に備えてガス管理設備の既設フィルタ及び排気ファンの下流側に、フィルタ付きの仮設局所排気設備を追加として設置したため、この状況を確認した。（図1）

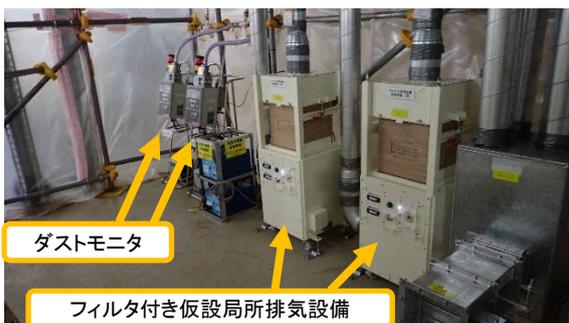
- ・仮設局所排気設備は2号機タービン建屋2階の仮設ハウスの中に設置されていた。（写真1）
- ・仮設局所排気設備は2台、並列に設置されており、それぞれダストモニタが設置されていた。（写真2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
仮設局所排気設備が設置されている
ハウスの状況



(写真2)
ハウス内部における、仮設局所排気
設備、ダストモニタの状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。